

第06講 ヨーロッパ世界の形成(ゲルマン・ノルマン人とローマ教皇権の盛衰)

① ゲルマン人諸国家とその具体的動きの組み合わせが正しいモノを1つ選べ。

- ① 西ゴート … テオドリックが建国
- ② 東ゴート … ユスティニアヌス1世で滅ぶ
- ③ ヴァンダル … イベリア半島に建国
- ④ ランゴバルド … ブリテン島に建国

② フランク王国が分裂し、新国家が成立するまでの流れを、順番に並べ替えなさい。

- ① ヴェルダン条約
- ② 聖像禁止令
- ③ ピピンの寄進
- ④ 神聖ローマ帝国成立

③ 間違っている用語を訂正しなさい(正しい波線は2つ)

カロリング家のクローヴィスは、アタナシウス派に改宗し、ローマ人との関係を強化した。その後、9世紀前半、ドイツ南西部のトゥール=ポワティエ間の戦いで、フランク王国の国王カール=マルテルがイスラーム軍を撃退し、キリスト教世界を防衛したことで、ローマ教会と接近することとなった。

④ カール大帝の業績として、最も関係の深いモノを1つ選べ。

- ① グレゴリウス7世より皇帝の冠を授けた。
- ② イタリアより神学者アルクインが招かれた。
- ③ 各州に伯を置いて、それを巡察使で監視した。
- ④ ラヴェンナ地方を教皇へ寄進した。

⑤ ノルマン人の国家に関する組み合わせとして、正しいモノを選べ。

- ① ロロ = デーン朝
- ② 南イタリア = 両シチリア王国
- ③ リューリク = ノルマンディー公国
- ④ 北フランス = ノヴゴロド国

⑥ キリスト教成立～教義統一に登場する歴史用語の組み合わせとして、正しいモノを1つ選びなさい。

- ① ネロ … 公認
- ② トラヤヌス … アタナシウス派が正統とされた
- ③ テオドリック … 国教化
- ④ コンスタンティヌス … アリウス派が異端とされた

⑦ 修道院に関する文として、正しいモノを1つ選びなさい。

- ① 6世紀にベネディクト修道会が中部イタリアに設立
- ② 修道院勢力は聖像などを利用して布教活動を行っていた
- ③ 教会の世俗化を広げるためにクリュニー修道院が設立
- ④ 十字軍の敗北によりシトー修道会が設立

⑧ 十字軍に関する文の中で正しいモノを選べ。

- ① アイユーブ朝の圧迫が遠征の背景
- ② 第1回十字軍の勝利でラテン帝国が建設
- ③ 第3回十字軍で仏王が最後まで戦った。
- ④ 巡礼者を保護するために宗教騎士団が作られた。

⑨ 次にあげるローマ教皇とその業績の組み合わせとして、正しいモノを1つ選べ。

- ①グレゴリウス7世 = 聖職者課税問題で対立 ②ボニファティウス8世 = 独帝ハインリヒ4世と対立
③インノケンティウス3世 = 英王ジョンを破門 ④ウルバヌス2世 = 第4回十字軍を提唱

⑩ 次にあげるキリスト教に関する事件を年代順に並べ替えなさい。

- ①カノッサの屈辱 ②コンスタンツ公会議 ③アナーニ事件 ④エフェソス公会議
⑤イェルサレム王国建国